

ChatGPT に聞いてみた

今こそ SDGs エコノミーラン大会で CO2 削減



「50 年前のオイルショック後 世界のエコノミーラン大会が多く開催された 最近、あまり聞かない、市販車を使って公道で世界的なエコラン大会が行われていたら教えてください」

ChatGPT:

近年、市販車を使用して公道で行われる世界的なエコラン大会は少なくなっていますが、以下のようなイベントが存在しています。

FIA ecoRally Cup (FIA エコラリーカップ)

FIA(国際自動車連盟)が主催する電気自動車(EV)を対象とした国際的なラリー競技です。市販のEVを使用し、ヨーロッパを中心に開催されています。競技は「レギュラリティラリー」として行われ、速度ではなく、定められた時間や速度にどれだけ正確に従えるかを競います。また、エネルギー効率も評価の対象となります。 [ウィキペディア](#)

GB MPG Marathon (MPG マラソン)

イギリスで開催されていた燃費競技イベントで、市販車を使用し、一般道を走行して実際の燃費性能を競いました。2009 年の大会では、スマート「フォーツー」ディーゼルが 34.27km/L の燃費を記録して優勝しています。このイベントでは、燃費改善率も評価され、運転技術による燃費向上が重視されました。 [レスポンス\(Response.jp\)](#)

Eco Grand Prix (エコ・グランプリ)

ヨーロッパを中心に開催される 24 時間耐久レースで、市販の電気自動車(EV)を使用します。2018 年にドイツで初開催され、Tesla Model S、BMW i3、Hyundai Ioniq などが参加しました。公道を使用したコースもあり、エネルギー効率と耐久性を競います。 [ウィキペディア](#)

Shell Eco-marathon (シェル・エコマラソン)

学生チームが超低燃費車両を開発し、燃費性能を競う国際的な大会です。アジア、アメリカ、ヨーロッパで開催され、2009 年にはフランスのチームが 1 リットルで 3,771km を走行する記録を達成しました。ただし、使用される車両は市販車ではなく、専用に設計・製作されたプロトタイプが中心です。 [WIRED](#)

これらの大会は、燃費やエネルギー効率を競うことを目的としており、市販車を使用するものもありますが、近年では開催数が減少しています。特に日本国内での公道を使用したエコラン大会は少なくなっており、海外での開催が中心となっています。今後、再び注目が集まることを期待したいところです。